

水防団、水防活動とは

○水防の意義

毎年のように水害に見舞われる我が国では、河川管理者が実施する治水施設の整備と市町村・地域住民が実施する水防活動が「車の両輪」となって水害被害の拡大を防いでいます。**水防とは自らの地域を自らの手で守る自衛の減災活動**であり、その**中心となるのが水防団です**。

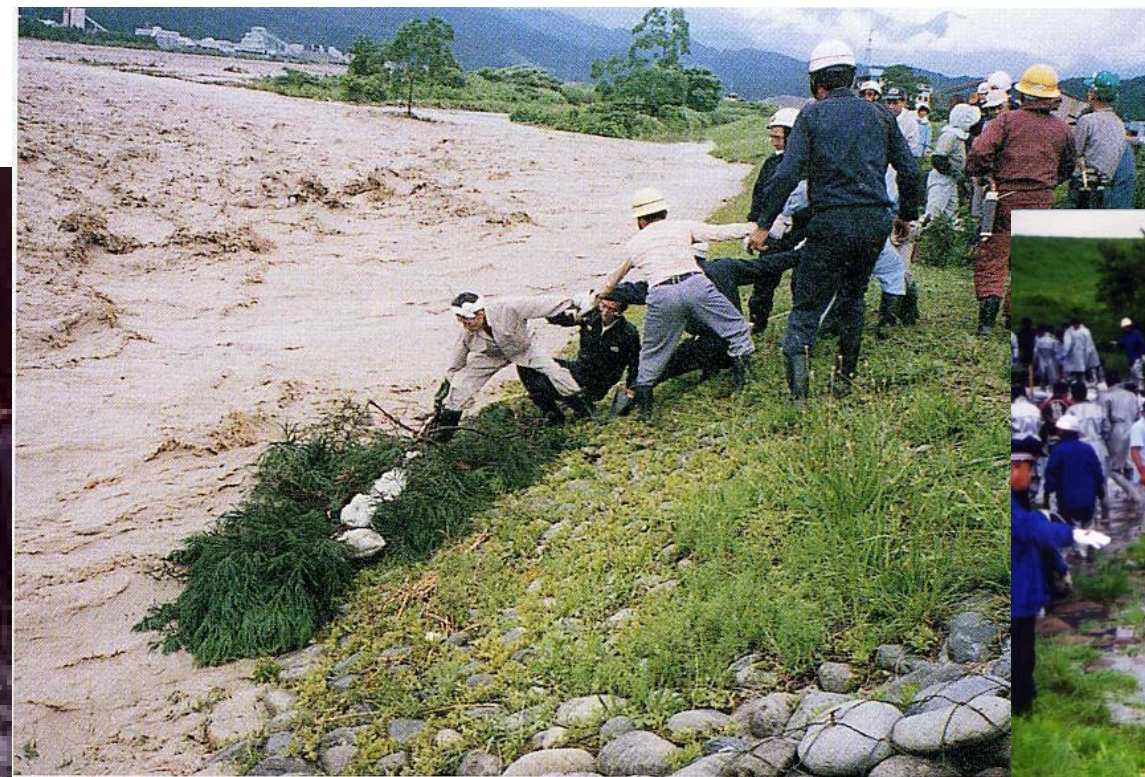
○水防活動の内容

洪水時には、巡視・警戒、**水防工法の実施**（写真参照）、陸閘・樋門等の開閉等を行います。
平常時には、堤防の巡視、水防倉庫・通信の点検、**訓練**を実施し、洪水に備えます。

○水防団が抱える課題

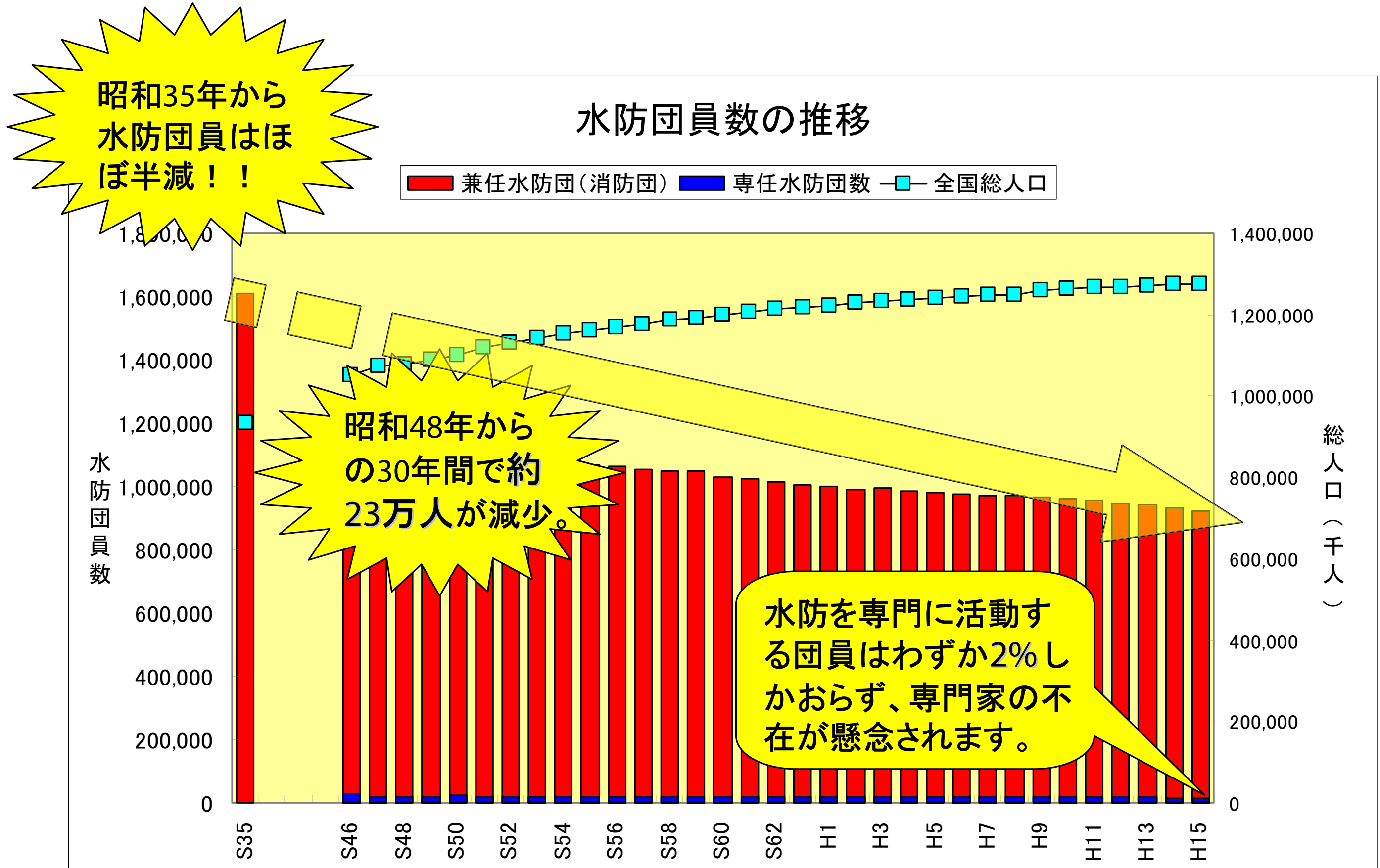
このように重要な役割を担っている水防団ですが、以下のような課題を抱えています。

- ・**水防団員の減少に伴う地域防災力低下に対する懸念**
- ・**新入団員の確保が困難となり、今後の水防体制確保に懸念**
- ・**サラリーマン団員増加に伴い、仕事と重なった場合の参集・活動を懸念**



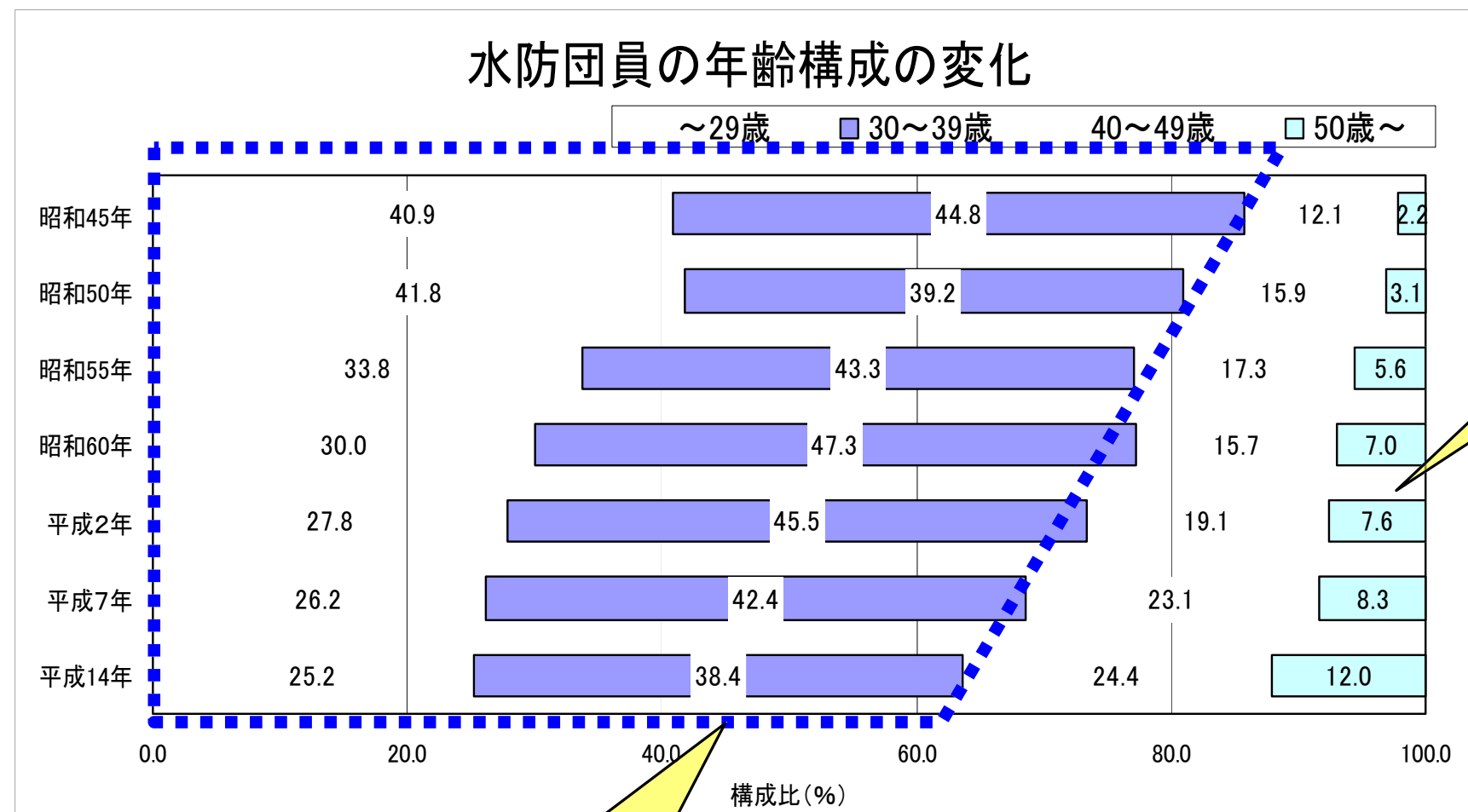
【懸念その1】水防団員の減少に伴う地域防災力低下に対する懸念

■ 水防団員数は年々減少しており、地域防災力の低下が懸念されています。



【懸念その2】新入団員の確保が困難となり、今後の水防体制確保に懸念

- 年齢構成では若者の割合が減り、勤続年数を見るとベテランの割合が増加していることから、新入団員が減少し、団員確保が困難になっている状況が伺えます。

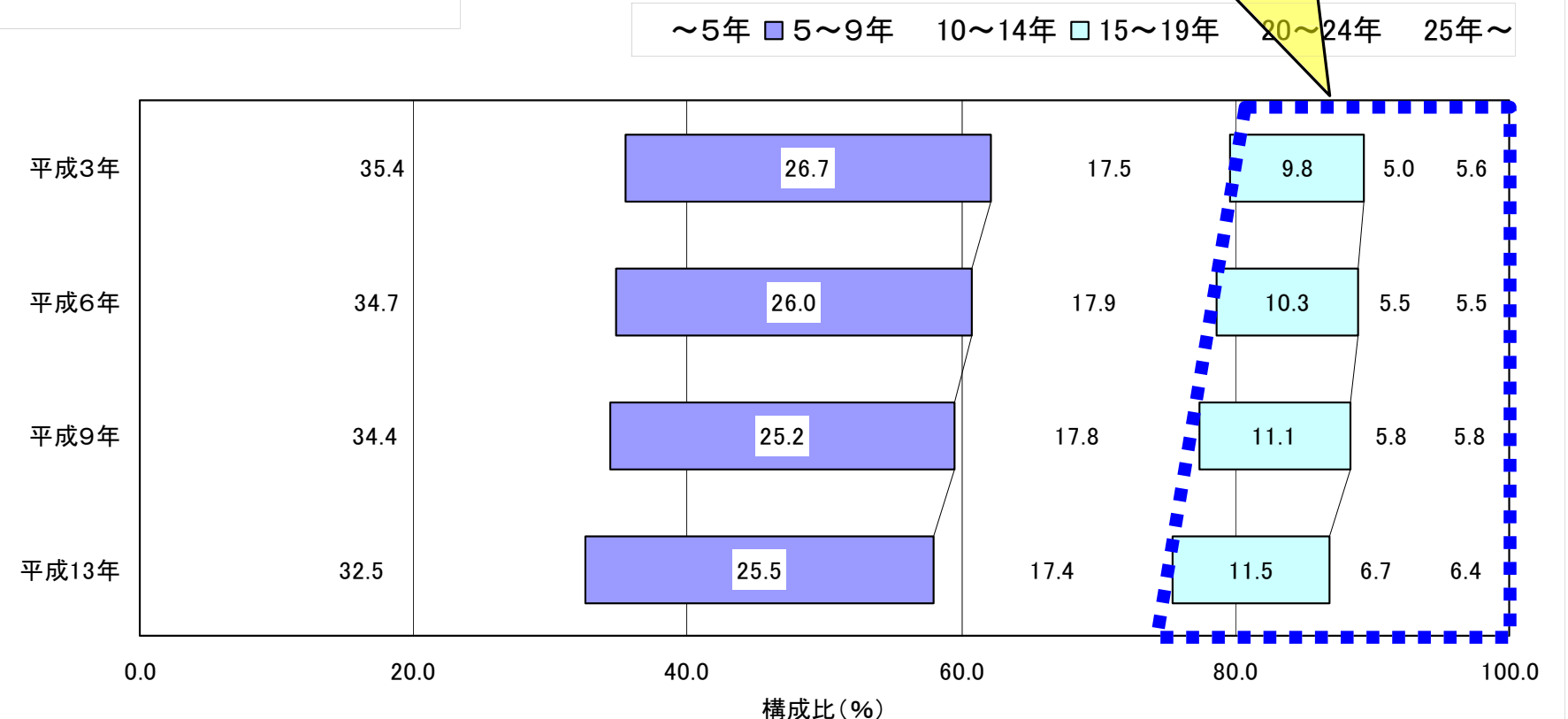


② 昭和45年に86%を占めていた40歳未満の団員が平成14年には64%まで減少しています。

① 昭和45年からの32年間で、50歳以上の団員の占める割合は約5.5倍に増えています。

③ 新入団員が確保できないことによりベテラン団員に頼らざるを得ない状況が伺えます。

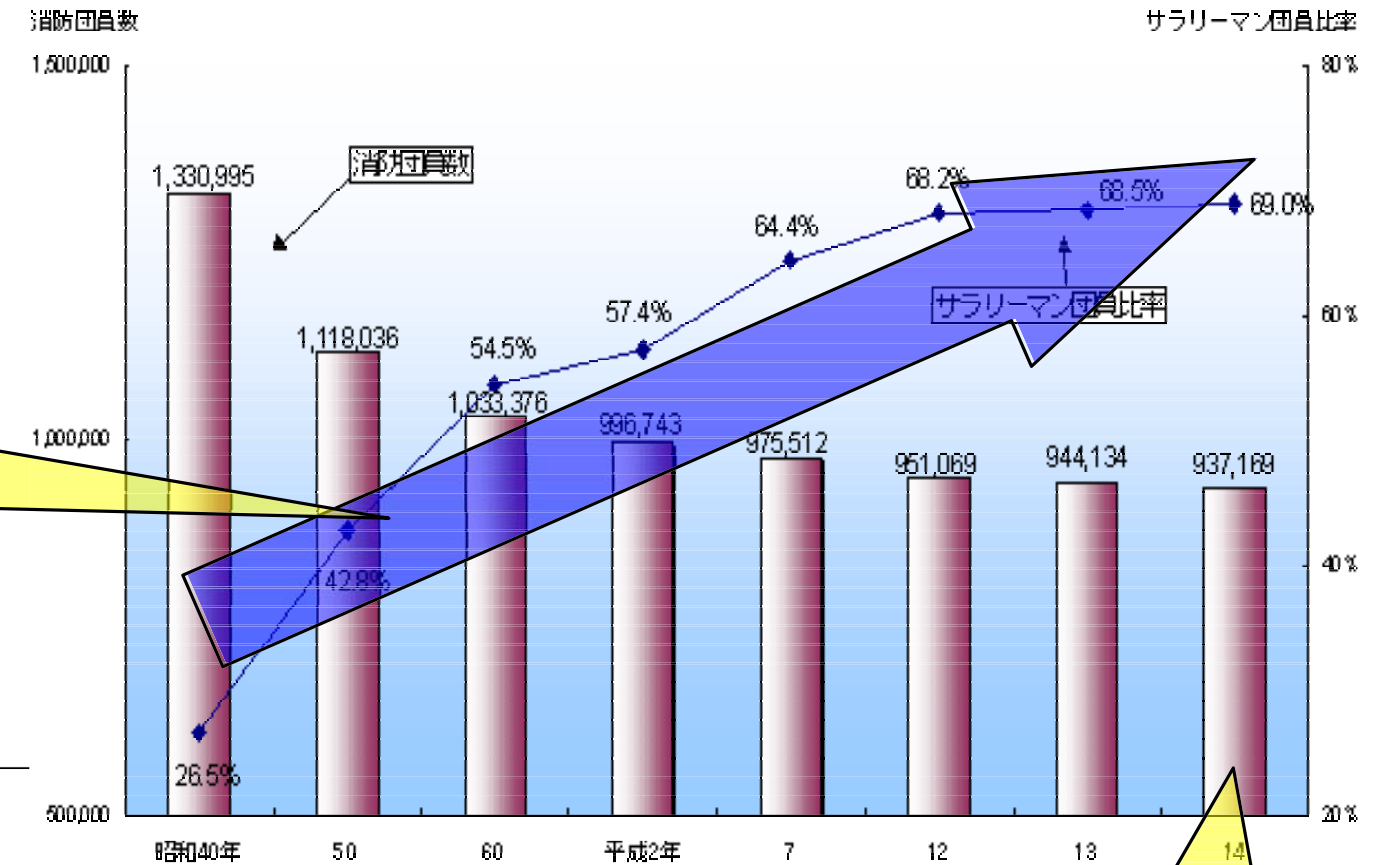
水防団員の勤続年数の変化



【懸念その3】サラリーマン団員増加に伴い、仕事と重なった場合の参集・活動を懸念。

- サラリーマン団員が増加しており、水防活動と仕事が重なった場合に団員が参集できるのかが懸念されています。団員が安心して活動できるよう、雇用者の理解と協力が期待されます。

① サラリーマン団員数は、昭和40年から37年間で約2.6倍に増えています。



Q. 今後の課題はどのようなことですか？

回答数

サラリーマン団員の増加による参集困難

水防団員の不足

資機材の不足

高齢化による機動力の不足

住民の防災意識の不足

活動拠点の不足

無回答

現場情報の不足

自主防災組織との連携の不足

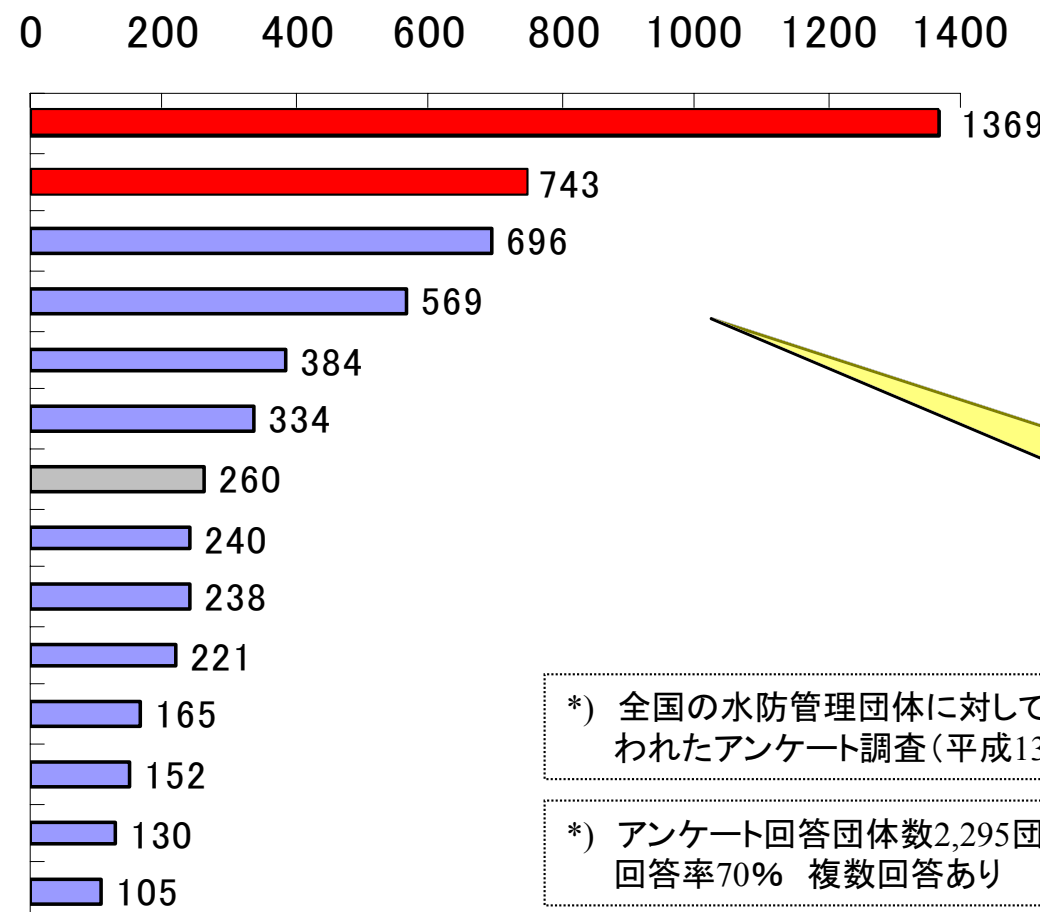
河川情報の不足

災害補償等の不足

企業内防災組織との連携の不足

災害ボランティアとの連携の不足

その他



*) 全国の水防管理団体に対して行われたアンケート調査(平成13年)

*) アンケート回答団体数2,295団体
回答率70% 複数回答あり

※消防庁ホームページより引用。

② 平成14年には、団員の3人に2人がサラリーマンです。

③ 水防管理団体(市町村等)も参集困難、団員の不足を懸念しています。

【これまでの取り組み1】水防演習の開催

- 水防の重要性を国民に対して周知し、水防思想の高揚を図るため、全国各地で水防演習が開催され、水防工法の実演や各種イベントが実施されています。

五徳縫工



月の輪工



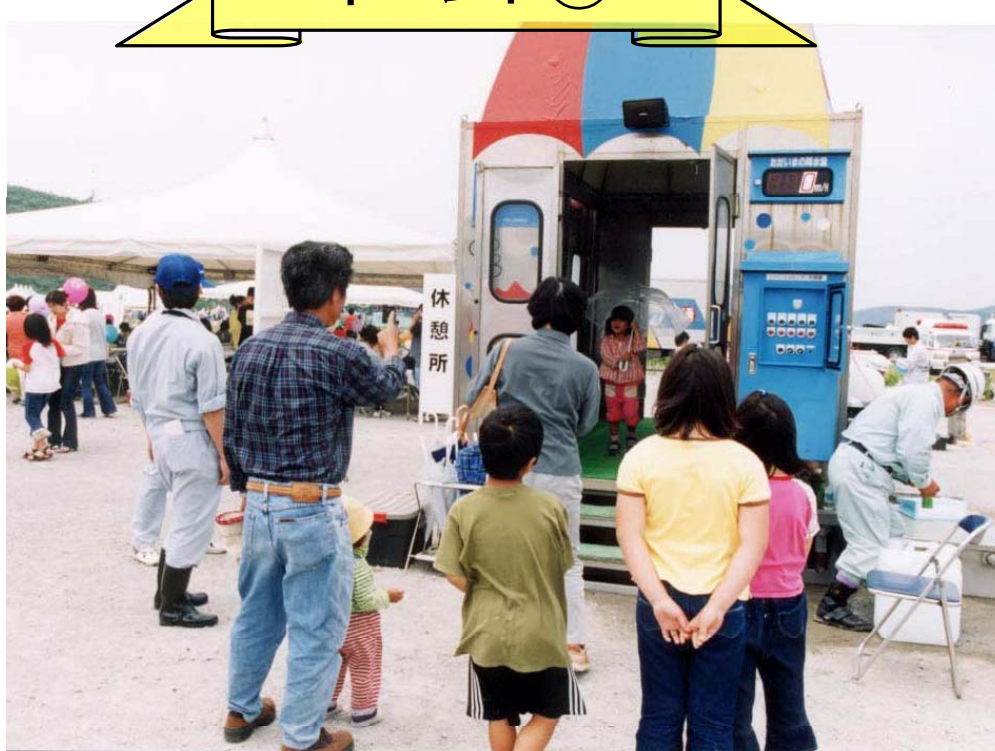
築き回し工



イベント①



イベント②



イベント③



【これまでの取り組み 2】 ハザードマップなど防災に関する情報提供

■ 市町村では、浸水情報に避難地や避難経路の情報などを具体的に表示した洪水ハザードマップを作成しており、平成15年12月末時点で全国の295市町村において公表されています。

また、国土交通省および各都道府県、市町村では、リアルタイム雨量や河川水位等の情報をインターネットや携帯端末等により提供する取り組みを進めています。



防災情報提供センター : <http://www.bosaijoho.go.jp/>



福岡県河川防災情報
<http://www.kasen.pref.fukuoka.jp/>

福岡市防災対策情報
<http://bousai.city.fukuoka.jp/>



水防団への入団のご案内

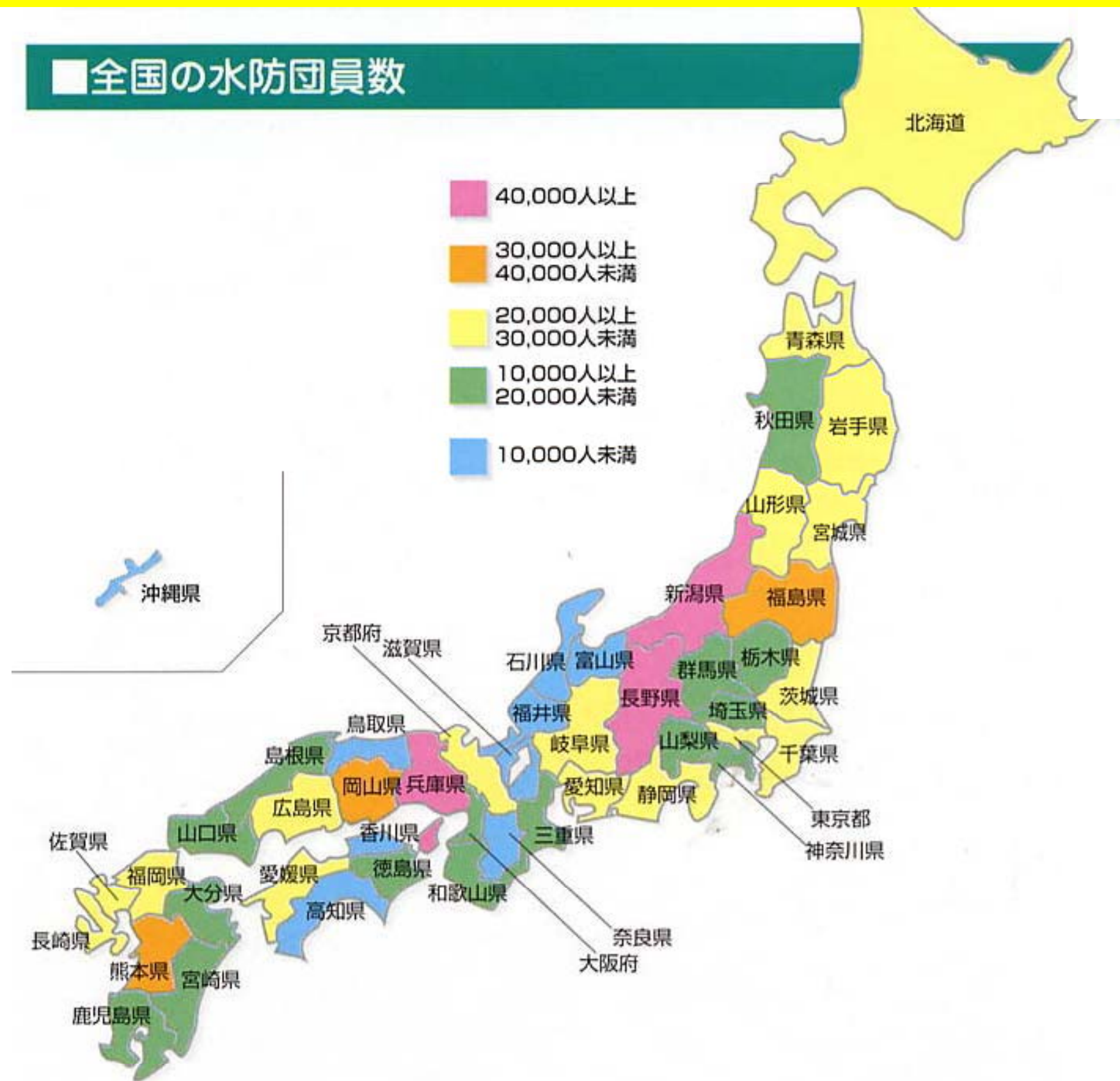
水害を未然に防止し、被害を最小限に食い止め、私たちの生命や財産を守る貴重な役割を水防団は担っています。

しかしながら現在、水防団員数は減少しており、団員の高齢化が進むなど、水防活動の充実を図るためには是非とも皆様方のご協力が必要です。

水防は、国民一人ひとりが力を合わせてこそ成り立つものなのです。

水防団員は、地方公務員の特別職という身分を有しており、ほとんどの市町村等で手当等が支給されます。

詳しくお知りになりたい方、水防団への入団を考えられている方は、お住まいの市町村等にお気軽にお問い合わせ下さい。



**現在、全国で約94万人の水防団員が
各地の水害で水防活動に従事しています。**